

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

- A 計画通り実施し一定の成果があった B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館運営に関する項目					
1 図書館施設・機能の充実					
1 公共施設を利用した図書館機能の充実	他の公共施設との連携等により、図書館から一定の距離がある地域へのサービス提供、来館が困難な人へのサービス提供を充実させ、市内在住者の図書館貸出利用登録割合を40%以上にします。	引き続きブックポストの設置可能な場所についての検討を進め、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)			
		利用困難者に対する配本サービスの提供について、サービス内容及び対象者の見直し案を作成します。 (平成24年まで2か年間の取組)			
2 既存施設の整備・改修	すべての利用者が使いやすい安全な施設を提供するため、各館の提供するサービスに応じた施設の整備・改修を進めます。 (数値目標:書庫の集密化等により、中央図書館の蔵書可能数を平成26年度までに70万冊とする)	施設の老朽化に対応した工事を実施します。 中央図書館 電話交換器及び館内電話設備改修 OA床改修工事			
		平成25年度以降の書庫集密化予算の獲得。			
3 図書館業務システムの再構築	自動貸出・返却機等の導入・活用により業務の効率化を図り、限られた人的資源を読書の案内や課題解決の支援に向けます。 (数値目標:貸出・返却において、2分以上待たせないこと)	システムエラーを解消し、自動貸出機、自動返却機、予約棚、返却棚の安定的な運用を図るための定期的(1~2か月に一度)な検証を行います。			
		業務の効率化に伴い発生する人的資源を読書の案内や課題解決の支援など新たな業務体制に振り分けます。			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 安心して利用できる図書館環境の構築					
1 利用者の安全性を高める施設の充実	利用者が快適で安心して図書館を利用できる環境を構築します。 (数値目標:利用者アンケートを実施→安心感 ある75%以上)	平成26年度末までに、巡回警備、夜間警備等、警備体制の強化を図ることを目標に、今年度は具体的方法についての検討を行います。【平成24年度中間報告予定】			
2 個人情報とプライバシーの保護	利用者の個人情報及びプライバシーを保護します。	個人情報とプライバシー保護に関する研修を職員に対して継続的に実施します。(全職員に対する定期研修:年1回、新規配属職員:随時)			
3 危機管理体制の構築	図書館の危機管理体制を定期的に見直しながら、より強固なものへ構築していきます。 (数値目標:毎年1回の見直しの実施)	職員に対する危機管理研修、実際のリスク発生を想定した訓練を継続的に実施します。【年1回】			
		安全対策マニュアルを更新します。			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館運営に関する項目					
3 質の高いサービスを支える体制整備					
1 職員の人材育成	質の高いサービスを提供する基盤として、図書館運営を担う人材育成を図ります。 (数値目標:毎年一人3回以上の研修参加)	「武蔵野市立図書館人材育成計画」に基づき、内部研修を実施(職員向け6回、嘱託職員向け4回)し、職員を外部研修に派遣します。			
		「研修個人シート」を作成し、各職員の研修参加状況の把握と意識の向上に努めます。			
2 施設の管理・運営形態	図書館として最も望ましい管理・運営形態を目指し、利用者への利便性をさらに向上させます。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利便性への評価 良い75%以上)	中央図書館・吉祥寺図書館の土・日・祝日の開館時間の延長についての検討をすすめ、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)			
		中央図書館・吉祥寺図書館の望ましい運営形態の研究を進め、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)			
3 評価システムの構築	図書館が提供するサービスについて、見直しと向上を図る評価システムを構築、運用し、評価を実施していきます。 (数値目標:年1回評価システムによる評価及び市民への公表実施)	一部の評価者にゆだねるのではなく、図書館職員すべてが評価及び運用に関わることができるような仕組みを作ります。 (平成24年まで2か年間の取組)			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

- A 計画通り実施し一定の成果があった B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館サービスに関する項目					
4 地域の情報拠点としての情報の蓄積					
1 多様な情報資料の蓄積	市民や利用者の多様なニーズに対応するために、多様な情報資料を蓄積し、各図書館での蔵書の充実を図ります。 (数値目標: 毎年1回以上の資料収集方針の点検)	一般図書、逐次刊行物、視聴覚資料、郷土行政資料等の継続的な収集と整備を進めます。			
		インターネットデータベースの種類を、利用者ニーズの把握、利用者アンケートや他市調査等を基に増やし、積極的な広報や、利用者講座の実施などを通し、利用の促進を図ります。 講座実施: 年2回以上 対象: 利用者全般			
		図書館における電子書籍の導入について研究し、中間まとめを作成します。			
2 市民や地域の蔵書の有効活用と資料のリサイクル	市民の蔵書や図書館の除籍資料等について、有効活用を図ります。 (数値目標: 前年比100%以上のリサイクル資料の提供)	図書館におけるリサイクル事業を、継続して行います。			
		図書交流センター事業のPRを進めるとともに、センターを活用した資料のリサイクルを進めます。			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

- A 計画通り実施し一定の成果があった B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館サービスに関する項目					
5 市民や関係機関と連携したサービスの充実					
1 市民との協働	武蔵野市立図書館だけではまかないきれないサービスや情報を市民ボランティアや市民団体との連携により、幅広い利用者に提供していきます。 (数値目標:協働連携団体または事例を3点)	幅広い図書館業務において市民ボランティアとの協働の可能性について研究し、中間まとめを作成します。			
2 他の図書館施設、行政部局との連携・協力	武蔵野市立図書館だけではまかないきれないサービスや情報を他の図書館等関係機関との連携により、幅広い利用者に提供していくとともに、図書館の情報を行政部局や市議会で活用できるように体制整備を進めます。	中央図書館で「課題解決支援テーマ展示」を24年度は10回実施し、庁内、関係機関に協力を求め、有効な情報、資料を収集します。			
		課題解決テーマ展示の資料リストや市政に関する雑誌記事等を関係各課に送付し、各課が、図書館資料や提供情報を業務に活用できるように努めます。			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
3 その他の機関との連携協力	市内の民間事業者や文化施設との連携を進め、地域振興の推進や地域文化の創造・発展を図ります。(数値目標:連携・創造の取り組みを年3回以上実施)	各事業者、団体等の活動について情報収集に努め、資料展示に反映させます。			
4 学校との連携協力	学校図書館の支援機能を強化しながら、図書資料を活用した学習を広く支援するとともに、そのための体制づくりに取り組みます。	昨年に引き続き、学校連携用図書の選書会議を年1回開催し、学校連携用の資料の貸出テーマ別リストを作成します。			
		平成23年度稼働の学校図書館システムとの連携についても研究し、報告にまとめます。(平成24年まで2か年間の取組)			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

- A 計画通り実施し一定の成果があった B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館サービスに関する項目					
6 図書館の活用と情報収集の支援					
1 貸出・閲覧サービスの利便性の向上	自動貸出機や自動返却機の導入、配本サービスの充実、ブックポストの設置など利用者の利便性の向上を図ります。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利便性への評価 良い75%以上)	自動貸出機・返却機・館内OPACなどについて利用者アンケートを実施し、利用者の声を反映し、利便性の向上を図ります。			
2 本に親しめる環境の整備	利用者が本に興味を持てる情報の提供やテーマ別配架の実施により、利用者が本に親しめる環境を構築します。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利用者が楽しめる環境良い75%以上)	平成23年度に策定した「子ども読書活動推進計画」に基づいた取り組みとして、ハンディキャップを持つ子どもたちへのサービスを実施します。			
		一般向けトピックス展示を、中央で年5回(期間1~3ヶ月)、プレイスで年6回(期間1~2ヶ月)実施します。			
		児童向けテーマ展示を各館年3回以上実施します。			
		児童・ヤングアダルト資料を継続的に収集・整備します。			
		中央、プレイスで、ヤングアダルトに関する企画展示を実施します。 (目標値:各館年1回以上)			
3 市民活動支援機能の充実	様々な活動を行っている市民団体等と連携しながら、活動に有益な情報の提供や、活動記録の蓄積を進めます。	図書館関係団体や地域の文庫活動に対して、支援を行っていきます。 [継続事業]			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館サービスに関する項目					
7 市民の学びと課題解決の支援					
1 レファレンス・サービスの充実	利用者が必要とする情報・資料を容易に探索できるよう、本の案内やレファレンスサービスを充実していきます。 (数値目標:利用者アンケートを実施→レファレンスサービスへの評価 良い75%以上)	レファレンス方向のため、レファレンス研修を継続実施します。 (目標値:年3回)			
		レファレンス事例のシステム入力を進め、全館で共有します。			
		郷土レファレンス情報資料を作成して、全館カウンターで利用する等の情報の共有化を図り、レファレンス対応力の向上に努めます			
2 学びを支える情報の収集、提供、発信	利用者の多様な学びを支援するため、利用者が必要とする情報の収集、提供、発信を積極的に行います。 (数値目標: 調べ方案内(パスファインダー)の発行数 年3回以上)	武蔵野市に関する新聞記事見出しデータベースの更新に努めます。			
		引き続き契約データベース等による幅広い情報提供を行います。 武蔵野市に関する情報、資料の探し方をテーマとしたA41枚裏表程度のパスファインダーを紙媒体で発行するとともに、HP上でも公開します。			
3 課題解決の支援	利用者の抱える課題に応じた情報を収集し提供するほか、これらの情報を効率的に利用できるよう、図書館資料の検索性を向上させます。また、利用者を対象としたデータベース検索講座等を実施し、利用者の情報リテラシー能力向上を図ります。 (数値目標:①課題解決テーマ展示 年10回以上実施 ②利用者対象情報検索講座年2回以上実施)	昨年度より引き続き、1ヶ月期間の「課題解決支援テーマ展示」を10回実施します。			
		利用者を対象としたデータベース検索講座等を2回以上実施します。			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

- A 計画通り実施し一定の成果があった B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館サービスに関する項目					
8 利用対象者別の図書館サービスの充実					
1 一般利用者向けサービスの充実	資料・情報の必要な方が、必要なときに手にすることができるよう資料の充実やレファレンスサービスの充実を図るとともに、身近な公共施設での貸出・返却サービスや図書館開館時間の延長なども検討していきます。	「課題解決支援テーマ展示」の実施に伴い、庁内、関係機関に協力を求め、有効な情報、資料を収集します。			
		レファレンス力向上のため、レファレンス研修を継続実施します。 (目標値:年3回)			
		レファレンス事例のシステム入力を進め、全館で共有します。			
		郷土レファレンス情報資料を作成して、全館カウンターで利用する等の情報の共有化を図り、レファレンス対応力の向上に努めます			
		自動貸出機・返却機・館内OPACなどについて利用者アンケートを実施し、利用者の声を反映し、利便性の向上を図ります。			
		中央図書館・吉祥寺図書館の土・日・祝日の開館時間の延長についての検討をすすめるほか、2館の望ましい運営形態の研究を進め、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

- A 計画通り実施し一定の成果があった B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 児童サービスの充実	子どもの読書習慣を定着させる事業やサービスの拡充を図ります。 (数値目標:小中学生の1か月の平均読書数を、平成22年度比10%増)	ブックスタート事業の継続実施及び乳幼児向けのおはなし会や幼児小学生向けおはなし会、保護者向けの講演会、こどもまつり、読書の動機づけ指導、子ども文芸賞等の子どもの読書習慣の定着を図る事業を実施します。			
		ハンディキャップを持つ子どもへのサービスを、市関連施設において試行します。			
3 ヤングアダルト向けサービスの充実	中学生・高校生を対象とした学習スペースの提供、図書館資料を活用した多様な活動の支援や情報発信の場の提供などを実施します。 (数値目標:青少年利用者の図書館満足度 良い75%以上)	3館で連携しヤングアダルトに関する企画展示を年1回以上実施します。			
		武蔵野プレイスの青少年活動支援機能との連携を図ります。 (平成24年まで2か年間の取組)			

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

- A 計画通り実施し一定の成果があった B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
4 シニア利用者に対するサービス	シニア世代を対象とした趣味や健康に関する情報提供や図書館資料を活用した学びの支援、また市民ボランティアとして図書館運営に参画してもらいます。 (数値目標:シニア利用者の図書館満足度 良い75%以上)	図書館資料を活用したシニア世代の生涯学習支援について検討し、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)			
		シニア世代が利用しやすい大活字本の充実を図ります。【参考指標】 (蔵書数:2,533冊 23年度末) (購入数:198冊 23年度)			
5 来館、利用困難者に対する利便性向上	障害がある、日本語を母国語としない等により来館が困難、利用が困難な方に対するサービス体制を強化、拡充します。 (数値目標:障害者用資料の利用率 平成22年度比 120%)	視覚障害による活字図書の利用困難者に対し、音訳図書の貸出や対面朗読サービス等を引き続き実施します。[継続事業]			
		様々な理由で図書館利用が困難な方に対するサービスについて、対象者・内容の見直しとともに検討を進め、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)			
		視覚障害者向け資料提供の電算システムを導入し、平成24年9月稼働を目指します。			